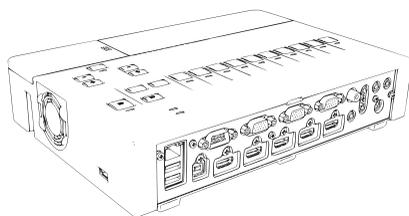


# マルチファンクションスイッチャー / ワイヤレスマルチファンクションスイッチャー MS-1J/MS-1WJ (形名: MS-1/MS-1W)

## 取扱説明書

### - 詳細 - ネットワーク編

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本品をより安全にご活用いただくため、必ず初めに本書をお読みください。



## 警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ



1. はじめに	2
使用上のご注意	2
主な機能	4
2. ネットワークへの接続	5
2.1 必要なシステム環境について	5
2.2 必要なハードウェアおよびソフトウェアについて	7
2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN	8
2.3.1 機器を接続する	8
2.3.2 ネットワーク設定方法	8
2.3.3 インターネットオプションの設定	11
2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN	12
2.4.1 機器を接続する	12
2.4.2 無線 LAN の接続設定	19
3. ネットワークプレゼンテーション	17
4. Web コントロール	18
4.1 ログオン	19
4.2 ネットワークインフォメーション	20
4.3 ネットワーク設定	21
4.4 ポート設定	24
4.5 メール設定	26
4.6 障害通知設定	27
4.7 日付 / 時刻設定	28
4.8 セキュリティ設定	30
4.9 スイッチャー制御	31
4.10 リモートコントロール	37
4.11 スイッチャー状態	39
4.12 ネットワークリスタート	40

# もくじ



5. マイイメージ	41
6. メッセンジャー	42
7. ネットワークブリッジ	43
7.1 機器の接続	43
7.2 通信設定	44
7.3 通信ポート	44
7.4 通信方式	45
7.4.1 半二重通信	45
7.4.2 全二重通信	46
8. その他の機能	47
8.1 電子メール機能による自動通知	47
8.2 SNMP による自動通知	49
8.3 ネットワークによるコマンド制御	50
9. トラブルシューティング	53
10. 保証とアフターサービスについて	55

## 1. はじめに

使用上のご注意 <必ずお読みください>



### 警告

● 高温に注意する

別売品の USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があります。触れるとやけどの原因となることがあります。USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、LAN 端子から遠い方の USB TYPE A 端子に直接接続し、アダプタカバーを必ず取り付けてください。本機を電源に接続した状態で、USB ワイヤレスアダプターを抜き差ししないでください。



高温注意

## 注意



● USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する  
USB ワイヤレスアダプターは、型名 (USB-WL-11N) を販売店に  
指定してご購入ください。



● LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する  
ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度  
の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN  
端子に接続しないでください。

▶ 公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルー  
タ等に接続してください。

▶ ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になる  
ネットワーク環境に合わせた設定が必要です。誤った接続や設定  
はネットワーク障害などの原因となることがあります。

## お守りください

● 無線 LAN で通信を行う場合は、SSID、暗号化などのセキュリティ対策を  
してください。セキュリティ対策をしない場合、通信内容を盗み見られたり、  
不正に侵入されるなどの問題が発生する可能性があります。無線 LAN に関す  
るセキュリティについては、「ネットワーク設定」(21) および【取扱説明  
書 - 詳細 - 応用編】 - 「ネットワークメニュー」の「無線 LAN 設定」をご参照  
ください。

● 無線 LAN で通信を行う場合は、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール、アダ  
プタなどをご使用ください。

別売品の IEEE802.11b/g/n 対応 USB ワイヤレスアダプターは、2.4GHz 帯域の電波  
を使用します。特に無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容をご理解のうえ、ご使  
用ください。

● 下記の機器、施設の近くでは、使用しないでください。

・電子レンジ ・産業・科学・医療機器 ・特定小電力無線局 ・構内無線局  
電波の干渉により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなる可能性があります。

● お使いになる場所によっては、電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり、通信  
できなくなることがあります。特に、鉄筋、金属、コンクリートなどは、電波を通さないため、  
ご利用の際は、ご注意ください。

● USB ワイヤレスアダプターが国内で使用できる 2.4GHz 帯域のチャンネル (実際の  
周波数範囲を複数に分けたもの) は、1 ~ 11 です。

● USB ワイヤレスアダプターは、国外に持ち出すと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

## 主な機能

### ■ネットワークプレゼンテーション

本機をネットワークに接続すると、わずらわしい映像信号のケーブルを使わずに、プレゼンテーションが可能です。"LiveViewer" を使用して、コンピュータの画面をキャプチャし、ネットワークを介して本機に送信し、本機の **HDMI OUT** 端子に接続されたプロジェクターなどの映像機器に出力して表示することができます (P17)。

### ■Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の確認や変更をすることが出来ます (P18)。

### ■マイ イメージ

静止画像をネットワーク経由で本機に4つまで転送し、マイ イメージとして登録することができます。また、保存した画像を選択し、本機の **HDMI OUT** 端子に接続されたプロジェクターなどの映像機器に出力して表示することができます (P40)。

### ■メッセージャー

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、本機の **HDMI OUT** 端子に接続されたプロジェクターなどの映像機器に出力して表示することができます。また、あらかじめ本機に転送・登録された最大 12 個 のテキストデータから、選択して1つずつ表示させることもできます (P42)。

### ■ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行う、ネットワークブリッジ機能に対応しています。本機とネットワークで接続したコンピュータから、本機を経由して、本機の **CONTROL** 端子に接続された外部機器をネットワーク端末と同様に制御することができます (P43)。

## お知らせ

- 本書では、特に断わりの無い限り、「説明書」はこの製品に付属する全ての文書を意味し、「本品」は付属品を含むこの製品の全てを意味します。
- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のスイッチャーとは若干の相違がある場合があります。

### 商標について：

- Microsoft<sup>®</sup>、Internet Explorer<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Windows XP<sup>®</sup>、Windows Vista<sup>®</sup>、Windows 7<sup>®</sup>、Aero<sup>®</sup> は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Pentium<sup>®</sup> は Intel Corp. の登録商標です。
- JavaScript<sup>®</sup> は Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ 及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- PJLink ロゴは、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。

The PJLink logo consists of the letters 'PJLink' in a bold, sans-serif font. The 'P' and 'J' are connected, and the 'L' is also connected to the 'i'. A small 'TM' trademark symbol is located at the top right of the 'k'.

## 2. ネットワークへの接続

### 2.1 必要なシステム環境について

本機をネットワークに接続するには、以下のものがが必要です。

■スイッチャー（本機）：1台

■コンピュータ：最低1台

■ネットワークの接続方法により、必要な機器が異なります。以下の説明に従って必要な機器をご用意ください。

1) 有線接続の場合 \*1

LAN ケーブル（CAT-5 以上）：1本

2) 無線接続の場合 \*2

－スイッチャー側

IEEE802.11b/g/n USB ワイヤレスアダプター（別売品：USB-WL-11N）：1個

－コンピュータ側

IEEE802.11 b/g/n 無線 LAN 機器：各コンピュータに1台 \*3

\*1: 本機のネットワーク機能を使用するためには、100Base-TX または 10Base-T に準拠した通信環境が必要です。

\*2: 無線 LAN 接続をインフラストラクチャモードで使用するには、無線 LAN アクセスポイントが必要です。

\*3: コンピュータに無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールやコンピュータとの間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール／アダプタをご使用ください。

## 2.2 必要なハードウェアおよびソフトウェアについて

本機にご使用のコンピュータを接続し、ネットワーク機能を使用するには、コンピュータに以下の条件が必要です。

- OS : Windows<sup>®</sup> XP Home Edition/ Professional Edition  
Windows Vista<sup>®</sup> Home Basic / Home Premium /  
Business /Ultimate / Enterprise /  
Windows<sup>®</sup> 7 Starter / Home Basic / Home Premium /  
Professional / Ultimate / Enterprise  
Windows<sup>®</sup> 8  
Windows<sup>®</sup> 8 Pro/Enterprise
- CPU : Pentium<sup>®</sup> 4 (2.8GHz 以上)
- グラフィックインタフェース : 16bit、XGA 以上

"LiveViewer" を使用する際には、コンピュータ画面の解像度を 1024 x 768 に設定することをお勧めします。

- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 100MB 以上
- Web ブラウザ : Internet Explorer<sup>®</sup> 6.0 以降
- CD-ROM/DVD-ROM ドライブ
- LAN インタフェース : 100Base-TX または、10Base-T 対応

## 2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN -

### 2.3.1 機器を接続する

この項では、有線 LAN 接続を手動で設定する方法について説明します。

#### 有線 LAN の接続手順

1. 本機の LAN 端子とコンピュータを LAN ケーブルで接続してください。  
(☞【取扱説明書 - かんたんガイド】)。
2. 次項の「ネットワーク設定方法」、および「インターネット オプションの設定」にしたがって、コンピュータのネットワーク設定を行ってください。
3. 最後に、本機の電源を入れ(☞【取扱説明書 - かんたんガイド】、「接続の確認」にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

### お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

### 2.3.2 ネットワーク設定方法

Windows<sup>®</sup> 7 を使用した場合のネットワーク接続の設定方法について説明します。

- 1) 管理者権限で Windows<sup>®</sup> 7 にログオンします。管理者権限とは、コンピュータのすべての機能にアクセスできる権限のことをいいます。
- 2) [スタート]メニューから“コントロールパネル”を開きます。
- 3) ネットワークとインターネットの [ ネットワークの状態とタスクの表示 ] を開きます。  
"コントロールパネル"をアイコンで表示している場合は、"ネットワークと共有センター"をクリックしてください。



- 4) "ネットワークと共有センター" ウィンドウの左側にあるメニューから、"アダプターの設定と変更"を選択してください。



## 2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN- (つづき)

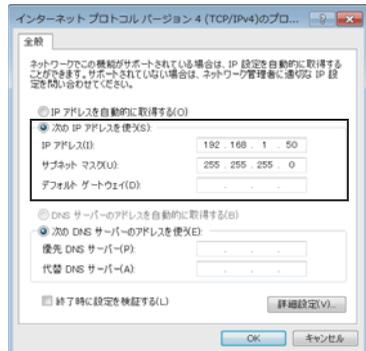
- 5) "ローカルエリア接続" を右クリックして、メニューを開き、"プロパティ" を選択してください。



- 6) "インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)" を選択し、[プロパティ] をクリックします。



- 7) "次の IP アドレスを使う" を選択し、コンピュータの "IP アドレス"、"サブネットマスク"、"デフォルトゲートウェイ" を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、"IP アドレスを自動的に取得する" を選択することで、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



## 2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN - (つづき)

### [IP アドレスについて]

#### ■手動設定

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

たとえば、本機の有線 LAN 設定が次のようになっている場合。

**IP アドレス : 192.168.1.253 サブネットマスク : 255.255.255.0**

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.1”です。コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

**IP アドレス : 192.168.1.xxx サブネットマスク : 255.255.255.0**

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ~ 254 の数値 (10 進数) を指定します。

#### お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- IP アドレスに "0.0.0.0" は設定できません。
- 本機の有線 LAN IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「有線 LAN インフォメーション」から確認できます。また、「ネットワーク」メニューの「有線 LAN 設定」 - 「IP アドレス」(📖【取扱説明書 - 詳細 - 応用編】)、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます (📖18)。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

#### ■自動設定

接続しているネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、コンピュータと本機に、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。

## 2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN - (つづき)

### 2.3.3 インターネットオプションの設定

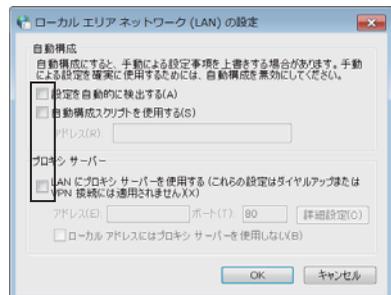
- 1) "ネットワークと共有センター"のウィンドウで、"インターネット オプション"を選択し、"インターネットのプロパティ"ウィンドウを開きます。



- 2) "接続"タブで、[LAN の設定] をクリックし、"ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定"のウィンドウを開きます。



- 3) "ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定"のウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



## 2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN -

### 2.4.1 機器を接続する

この項では無線 LAN を手動で設定してネットワークに接続する方法を説明します。指定の USB ワイヤレスアダプターを使用して、本機とコンピュータ間を Ad-Hoc、および Infrastructure の各モードで通信することができます。

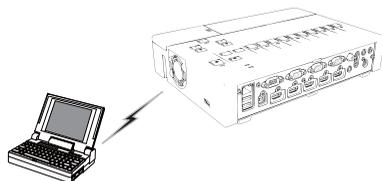


図 2.4.1a アクセスポイントを使用しない通信 (Ad-Hoc)

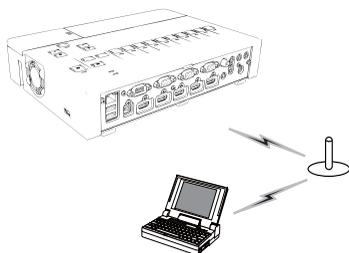


図 2.4.1.b アクセスポイントを使用した通信 (Infrastructure)

Ad-Hoc モードは、通信用のアクセスポイントを必要としない無線 LAN の接続方式です。Infrastructure モードは、通信用のアクセスポイントを必要とする無線 LAN の接続方式で、このモードのほうが多数の機器を接続する場合に便利です。

#### お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

はじめに、USB ワイヤレスアダプターを本機の **USB TYPE A** 端子に挿入してください。そのあと、コンピュータの無線接続の設定を行います。

IEEE802.11 b/g/n の無線 LAN モジュール / アダプタがコンピュータに搭載されている場合は、これを有効にし、他のネットワークデバイスは無効にします。無線 LAN モジュール / アダプタがご使用のコンピュータに搭載されていない場合は、IEEE802.11 b/g/n の無線 LAN モジュール / アダプタを接続し、デバイスドライバをインストールしてください。詳細は、ご使用のコンピュータと無線 LAN モジュール / アダプタのマニュアルをご参照ください。

## 2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN - (つづき)

### 2.4.2 無線 LAN の接続設定

Windows® 7 を使用する場合は、無線 LAN 接続の設定方法について説明します。ここでは、本機が初期設定である場合を説明します。アクセスポイントやデータ暗号化を使用する場合は、設定方法が異なります。詳細は、コンピュータと無線 LAN モジュール／アダプタの取扱説明書を参照してください。

本機の無線 LAN 初期設定は次のようになっています。

**接続方式： Ad-Hoc**

**SSID： switcher**

**チャンネル： 1ch**

**データの暗号化： 無効**

**IP アドレス： 192.168.10.253**

#### お知らせ

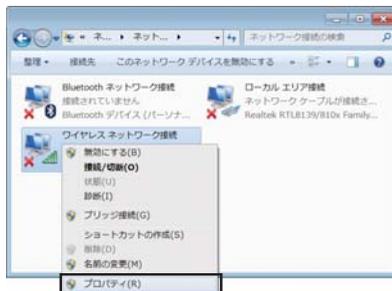
- この設定は、「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます。詳細は、取扱説明書 - 詳細 - 応用編をご参照ください。

- 1) "ネットワークと共用センター"のウィンドウで、左側のメニューから、"アダプターの設定の変更"を選択してください。



## 2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN - (つづき)

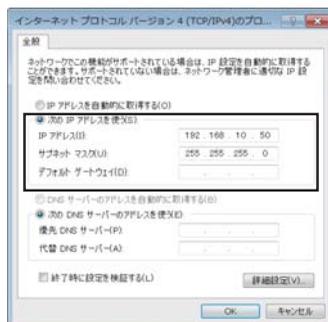
2) "ワイヤレスネットワーク接続" を右クリックしてメニューを開き、プロパティを選択してください。



3) "インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)" を選択し、[プロパティ] をクリックします。



4) "次の IP アドレスを使う" を選択し、コンピュータの "IP アドレス"、"サブネットマスク"、"デフォルトゲートウェイ" を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、"IP アドレスを自動的に取得する" を選択することで、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



## 2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN - (つづき)

### [IP アドレスについて]

#### ■手動設定

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

たとえば、本機の無線 LAN 設定が次のようになっている場合。

**IP アドレス：192.168.10.253 サブネットマスク：255.255.255.0**

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.10”です。コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

**IP アドレス：192.168.10.xxx サブネットマスク：255.255.255.0**

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 254 の数値 (10 進数) を指定します。

#### お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。
- 本機の無線 LAN IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「無線 LAN インフォメーション」から確認できます。また、「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」－「IP アドレス」(📖【取扱説明書 - 詳細 - 応用編】)、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます (📖18)。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

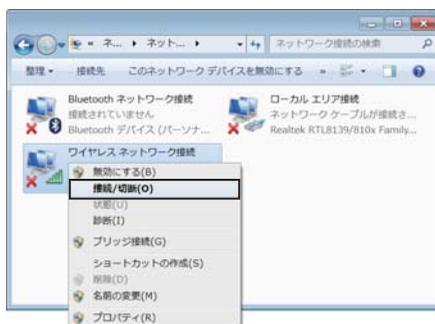
#### ■自動設定

接続しているネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、コンピュータと本機に、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。

## 2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN - (つづき)

5) "ワイヤレスネットワーク接続" を右クリックし、接続 / 切断を選択します。



6) 接続可能なネットワークから本機の SSID (デフォルト "switcher") を選択してください。暗号方式が有効の場合は、暗号キーの入力を求めるウィンドウが表示されます。設定した暗号キーを入力してください。

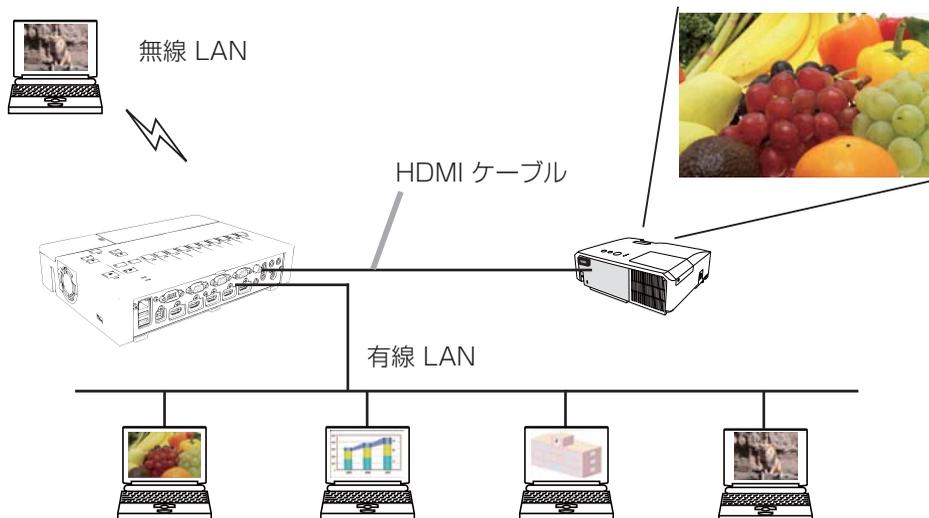


7) 接続が成功すると、SSID の横に "接続" と表示されます。



### 3. ネットワークプレゼンテーション

ネットワーク経由で本機に転送されたコンピュータ画面と音声のデータを本機の **HDMI OUT** 端子に接続されたプロジェクターなどの映像機器に出力して表示再生する事ができます。このネットワークプレゼンテーション機能は、プレゼンテーションおよび会議を円滑にすすめるのに有効です。



ネットワークプレゼンテーションには、専用のアプリケーション、"LiveViewer"が必要です。付属品 CD-ROM「Wireless & Network Software」からインストールしてください。また、最新バージョンの "LiveViewer" は、日立のホームページからダウンロードできます。

**日立ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>**

お使いの機種により、LiveViewer の使用できる機能が異なります。最新の LiveViewer をダウンロードしてご使用になる場合は、LiveViewer 取扱説明書の該当するグループの項を参照してください。本機種のグループは、**G** になります。

## 4.Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の状態確認、設定、制御を行うことができます。

### お知らせ

- Internet Explorer® 6.0 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールの画面が正しく表示されないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機がデータを正常に処理できないことがあります。

Web ブラウザを使用して本機の制御あるいは設定を行う場合は、以下の説明に従って操作してください。

コンピュータと本機がネットワークで接続されていることを確認し、Web ブラウザを起動してください。以下の例のように、本機の IP アドレスを Web ブラウザの URL 入力ボックスに入力し、**ENTER** キーを押すか、あるいは  をクリックしてください。

例：本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合、Web ブラウザの URL 入力ボックスに URL: `http://192.168.1.10/` を入力し、**ENTER** キーを押すか、あるいは  をクリックしてください。正しい URL が入力され、本機とご使用のコンピュータが正しくネットワークで接続されていれば、

右図のようなログオン画面が表示されます。



ログオン画面

## 4.1 ログオン

Web コントロールを使用するには、  
ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

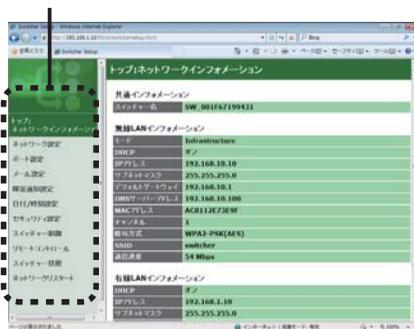
パスワードの初期設定は下表の通りです。

ユーザー名	Administrator
パスワード	(工場出荷時は設定されていません)



ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。  
ログオンが成功すると、下図の画面が表示されます。

メインメニュー



画面左側のメインメニューから 設定・操作したいメニュー項目を選んでください。

### お知らせ

- Web コントロールの画面は、本機の言語設定と同じ言語で表示されます。Web コントロール画面の表示言語を変更するには、本機の「簡単」メニュー または 「詳細」メニューの「スクリーン」メニュー (📖【取扱説明書 - 詳細 - 応用編】) から「表示言語」を変更するか、Web コントロール「スイッチャー制御」 - 「スクリーン」で表示言語 (📖31) を変更してください。

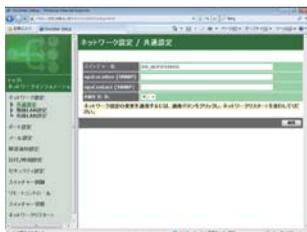
## 4.2 ネットワークインフォメーション



ネットワークインフォメーションでは、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

項目	説明
<b>共通インフォメーション</b>	無線 LAN と有線 LAN で共通の情報を表示します。
<b>スイッチャー名</b>	本機に登録されたスイッチャー名です。
<b>無線 LAN インフォメーション</b>	本機の無線 LAN 設定を表示します。
<b>モード</b>	本機の無線接続モードを表示します。
<b>DHCP</b>	本機の DHCP 設定です。
<b>IP アドレス</b>	本機の IP アドレスです。
<b>サブネットマスク</b>	本機のサブネットマスクです。
<b>デフォルトゲートウェイ</b>	本機のデフォルトゲートウェイです。
<b>DNS サーバーアドレス</b>	DNS サーバーのアドレスです。
<b>MAC アドレス</b>	本機の MAC アドレスです。 ※ご使用になる USB ワイヤレスアダプターごとに異なります。
<b>チャンネル</b>	無線接続に使用するチャンネルです。
<b>暗号方式</b>	本機の暗号方式設定です。
<b>SSID</b>	本機の使用している SSID です。
<b>通信速度</b>	無線 LAN 通信速度を表示します。
<b>有線 LAN インフォメーション</b>	本機の有線 LAN 設定を表示します。
<b>DHCP</b>	本機の DHCP 設定です。
<b>IP アドレス</b>	本機の IP アドレスです。
<b>サブネットマスク</b>	本機のサブネットマスクです。
<b>デフォルトゲートウェイ</b>	本機のデフォルトゲートウェイです。
<b>DNS サーバーアドレス</b>	DNS サーバーのアドレスです。
<b>MAC アドレス</b>	本機の MAC アドレスです。

## 4.3 ネットワーク設定



本画面では、本機のネットワークの設定を行います。

項目	説明
<b>共通設定</b>	無線 LAN と有線 LAN で共通の機能の設定を行います。
<b>スイッチャー名</b>	スイッチャー名を設定します。 最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{ }~
<b>sysLocation (SNMP)</b>	SNMP 使用時に参照する設置場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
<b>sysContact (SNMP)</b>	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
<b>AMX D.D. (AMX Device Discovery)</b>	「AMX デバイスディスカバリー」の設定を行います。 この設定により「AMX コントローラ」がネットワークを介して本機を検出できるようになります。「AMX デバイスディスカバリー」についての詳細は、AMX のホームページ URL: <a href="http://www.amx.com">http://www.amx.com</a> をご覧ください。

## 4.3 ネットワーク設定（つづき）

項目	説明									
無線 LAN 設定	本機の無線 LAN 設定を行います。									
モード	“Ad-Hoc” もしくは “Infrastructure” を選択します。									
IP 設定	ネットワーク設定を行います。									
DHCP オン	DHCP を有効にします。									
DHCP オフ	DHCP を無効にします。									
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。									
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。									
デフォルト ゲートウェイ	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定 します。									
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。									
チャンネル	Ad-Hoc モードで使用するチャンネルを、1～11の間で選択します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>お知らせ</b></p> <p>●日本国内で使用できるチャンネルは、1～11です。また、規格によってはご利用のコンピュータに、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。</p> </div>									
暗号方式	暗号方式を選択します。									
WEP キー	WEP キーを設定します。 WEP キーには、ASCII 文字、または 16進数を選択して使用できます。選択した暗号方式または使用する文字方式によって下表のように設定できる文字の長さが異なります。 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <thead> <tr> <th>暗号方式</th> <th>ASCII 文字</th> <th>16進数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>5 文字</td> <td>10 文字</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>13 文字</td> <td>26 文字</td> </tr> </tbody> </table>	暗号方式	ASCII 文字	16進数	WEP 64bit	5 文字	10 文字	WEP 128bit	13 文字	26 文字
暗号方式	ASCII 文字	16進数								
WEP 64bit	5 文字	10 文字								
WEP 128bit	13 文字	26 文字								
WPA パスフレーズ	WPA パスフレーズを設定します。 8～63 文字の間で設定することができます。 使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 ! "# \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ^ _ {   } ~									
SSID	リストより SSID を選択します。 独自で任意の SSID を設定する場合は “カスタム” を選択し、入力ボックスに設定する SSID を入力してください。SSID は最大 32 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 ! "# \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ^ _ {   } ~									

## 4.3 ネットワーク設定 (つづき)

項目	説明
有線 LAN 設定	本機の有線 LAN 設定を行います。
IP 設定	ネットワーク設定を行います。
DHCP オン	DHCP を有効にします。
DHCP オフ	DHCP を無効にします。
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

### お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (☎40)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- WEP キー、WPA パスフレーズおよび SSID に無効な文字を使用した場合は、設定できません。
- スイッチャーは、無線 LAN と有線 LAN 両方で、同じネットワークに接続することはできません。無線 LAN と有線 LAN で、同じネットワークアドレスを設定しないでください。

## 4.4 ポート設定



“ポート設定”では、通信ポートの設定を行います。

項目	説明
ネットワーク制御ポート1 (ポート: 23)	ネットワーク制御ポート1 (ポート:23) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:23 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
ネットワーク制御ポート2 (ポート: 9715)	ネットワーク制御ポート2 (ポート:9715) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:9715 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
PJLink™ ポート (ポート: 4352)	PJLink™ ポート (ポート:4352) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:4352 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
マイメージポート (ポート: 9716)	マイメージポート (ポート:9716) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:9716 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
メッセージャーポート (ポート: 9719)	メッセージャーポート (ポート:9719) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:9719 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。

## 4.4 ポート設定 (つづき)

項目	説明
SNMP ポート	SNMP ポートの設定を行います。
ポートオープン	SNMP を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
トラップアドレス	SNMP トラップ宛先の IP アドレスを設定します。 “ネットワーク設定” の画面で、DNS サーバーのアドレスを設定していれば、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字と“-” (ハイフン)、“.” (ピリオド) の記号で 255 文字まで入力できます。
MIB ファイルのダウンロード	本機から MIB ファイルをダウンロードすることができます。
ネットワークブリッジポート	ネットワークブリッジポートの設定を行います。
ポート番号	ネットワークブリッジポートの番号を設定します。 1024 ~ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を設定してください。 初期設定では 9717 が設定されています。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

### お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (P.40)。

## 4.5 メール設定



"メール設定"では、"障害通知設定"で指定された、各エラー／警告の通知を行うための電子メールの設定を行います。

項目	説明
メール送信	電子メール機能を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。 電子メールの送信条件については、“障害通知設定”の画面で設定してください。
SMTP サーバー アドレス	メールサーバーの IP アドレスを設定します。 “ネットワーク設定”の画面で、DNS サーバーのアドレスを設定していれば、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字と“-”（ハイフン）、“.”（ピリオド）の記号で 255 文字まで入力できます。
送信者 E-mail アドレス	送信者の電子メールアドレスを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
受信者 E-mail アドレス	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。 各アドレスの [to] または [cc] を指定することもできます。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

### お知らせ

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[テストメール送信] ボタンをクリックして確認できます。[テストメール送信] ボタンをクリックする前に、“メール送信”の [有効] チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

## 4.6 障害通知設定



各種エラー / 警告におけるメール、SNMP トラップの設定を行います。

項目	説明
ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
Cold Start	本機の電源立ち上げ時に "Cold Start" の通知が表示されます。
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

各々のエラー / 警告通知について、以下の項目を設定できます。

項目	説明
SNMP トラップ	SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
メール送信	電子メール機能による自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。 本項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。
メール件名	送信する電子メールの件名を設定します。半角 100 文字まで設定できます。 本項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。
メール本文	送信する電子メールの本文を設定します。半角 1024 文字まで設定できます。 本項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" を選択した場合は表示されません。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

## 4.7 日付／時刻設定



“日付／時刻設定”では、日時の設定を行います。

項目	説明	
現在日付	年／月／日の形式で日付を設定します。	
現在時刻	時：分：秒の形式で現在時刻を設定します。	
サマータイム	サマータイムを有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。	
開始	サマータイムを開始する日時を設定します。	
月	サマータイムを開始する月（1～12）を設定します。	
週	サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。	
日	サマータイムを開始する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。	
時刻	時	サマータイムを開始する"時"（0～23）を設定します。
時刻	分	サマータイムを開始する"分"（0～59）を設定します。
終了	サマータイムを終了する日時を設定します。	
月	サマータイムを終了する月（1～12）を設定します。	
週	サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。	
日	サマータイムを終了する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。	
時刻	時	サマータイムを終了する"時"（0～23）を設定します。
時刻	分	サマータイムを終了する"分"（0～59）を設定します。

## 4.7 日付／時刻設定（つづき）

項目	説明
時差	グリニッジ標準時に対する時差（時：分）を設定します。コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、IT 管理者に問い合わせてください。
SNTP	SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、 [有効] チェックボックスをオンにします。
SNTP サーバー アドレス	SNTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。
周期	SNTP サーバーから日時の情報を取得する間隔（時：分）を設定します。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

### お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (☎40)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- 本機の電源を切ると、日付／時刻は初期化されません。
- SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
- SNTP 機能が有効のときは、タイムサーバーから日時の情報を取得し、設定を上書きします。
- 内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP 機能を使用することをお勧めします。

## 4.8 セキュリティ設定



“セキュリティ設定”では、パスワードなどの通信に関わるセキュリティの設定を行います。

項目	説明
ユーザーアカウント	ユーザー名とパスワードを設定します。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
パスワード	パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
ネットワーク制御	コマンド制御の認証パスワードを設定します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
認証パスワード再入力	確認のために、上記の認証パスワードを再入力してください。
SNMP	SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

### お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (40)。
- "ネットワーク制御" で設定したパスワードは、ネットワーク制御ポート 1 / 2 (ポート: 23、9715)、PJLink™ ポート (ポート: 4352)、マイイメージポート (ポート: 9716)、メッセージャーポート (ポート: 9719) に共通で有効となります。

## 4.9 スイッチャー制御



“スイッチャー制御”では、本機の設定状態を表示し、また、本機を遠隔操作することができます。制御メニューを選択すると、制御メニューごとの設定画面が表示されます。

### お知らせ

- Web コントロールを使用中に、本機のメニューで設定を変更した場合、画面の表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には、[更新] ボタンをクリックして、本機の設定を再読み込みしてください。

項目	説明
<b>メイン</b>	
入カソース	映像入力信号を選択します。 設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
ブランク オン/オフ	ブランク画面表示のオン/オフ（通常画面）を設定します。
消音	消音のオン/オフを設定します。
静止	画面静止のオン/オフを設定します。
テンプレート	テンプレート画面の表示/非表示（通常画面）を設定します。
マイ イメージ	マイ イメージの表示/非表示を設定します。表示する画像データの番号、または“表示オフ”を選択し、[適用] ボタンをクリックしてください。
マイ イメージ削除	マイ イメージの画像データを削除します。 削除する画像データを選択し、[適用] ボタンをクリックしてください。

## 4.9 スイッチャー制御（つづき）

項目	説明
<b>映像</b>	設定を変更したら、[決定]もしくは[適用]ボタンをクリックしてください。
明るさ	明るさを調節します。
コントラスト	コントラストを調節します。
映像モード	映像モードを選択します。
ガンマ	画面のガンマ設定を調節します。 [編集] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
色温度	画面の色温度設定を調節します。 [編集] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
色の濃さ	色の濃さを調節します。
色あい	色あいを調節します。
画質	画質を調節します。
マイメモリー保存	現在の設定をマイメモリー（1～4）に保存します。
マイメモリー読み出し	マイメモリー（1～4）に保存された設定を読み出します。
<b>表示</b>	設定を変更したら、[決定]もしくは[適用]ボタンをクリックしてください。
アスペクト	アスペクト（画面の縦横比）を選択します。
オーバースキャン	画面のオーバースキャンを調節します。
垂直位置	画面の垂直位置を調節します。
水平位置	画面の水平位置を調節します。
クロック位相	画面のクロック位相を調節します。
水平サイズ	画面の水平サイズを調節します。
オートアジャスト実行	ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。
<b>入力</b>	設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
プログレッシブ	プログレッシブモードを選択します。
VIDEO NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
色空間	色空間モードを選択します。
ビデオフォーマット	ビデオ 信号のフォーマットを選択します。
HDMI フォーマット-HDMI1	HDMI1 信号のフォーマットを選択します。
HDMI フォーマット-HDMI2	HDMI2 信号のフォーマットを選択します。
HDMI フォーマット-HDMI3	HDMI3 信号のフォーマットを選択します。
HDMI フォーマット-HDMI4	HDMI4 信号のフォーマットを選択します。
HDMI レンジ-HDMI1	HDMI1 信号のレンジを選択します。
HDMI レンジ-HDMI2	HDMI2 信号のレンジを選択します。
HDMI レンジ-HDMI3	HDMI3 信号のレンジを選択します。
HDMI レンジ-HDMI4	HDMI4 信号のレンジを選択します。

#### 4.9 スイッチャー制御 (つづき)

項目	説明
入力	設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
COMPUTER - イン - COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 の入力信号タイプを選択します。
COMPUTER - イン - COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 の入力信号タイプを選択します。
フレームロック	フレームロックを有効/無効にします。
設置	設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
モニターアウト - COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - LAN	LAN 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - USB TYPE A	USB TYPE A 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - USB TYPE B	USB TYPE B 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - HDMI1	HDMI1 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - HDMI2	HDMI2 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - HDMI3	HDMI3 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - HDMI4	HDMI4 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニターアウト - VIDEO	VIDEO 端子選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。

## 4.9 スイッチャー制御 (つづき)

項目	説明
オーディオ	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
音量	音量を調節します。 [ - ]、[ + ] ボタンをクリックするか、" 値:" に数値を入力してください。
音声入力設定 - COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - LAN	LAN 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - USB TYPE A	USB TYPE A 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - USB TYPE B	USB TYPE B 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - HDMI1	HDMI1 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - HDMI2	HDMI2 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - HDMI3	HDMI3 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - HDMI4	HDMI4 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - VIDEO	VIDEO 端子選択時の音声入力端子を設定します。
マイクレベル	マイク音声の入力レベルを設定します。
マイク音量	マイク音量を調節します。 [ - ]、[ + ] ボタンをクリックするか、" 値:" に数値を入力してください。
リップシンク	リップシンクを設定します。

#### 4.9 スイッチャー制御 (つづき)

項目	説明
スクリーン	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
表示言語	スイッチャーのメニューなど、スイッチャーの画面の表示言語、および Web コントロール画面の表示言語を選択します。
メニュー位置 V メニュー位置 H	メニューの垂直/水平位置を調節します。 [上]、[下] あるいは [左]、[右] ボタンをクリックするか、" 値:" に数値を入力し、[決定] ボタンをクリックしてください。
ブランク	ブランク画面を選択します。
メッセージ	メッセージ表示のオン/オフを設定します。
テンプレート	テンプレート画面を選択します。
C.C. - ディスプレイ	クローズド・キャプションの表示設定を選択します。
C.C. - モード	クローズド・キャプションのモードを選択します。
C.C. - チャンネル	クローズド・キャプションのチャンネルを選択します。
出力解像度	出力解像度を選択します。
出力モード	出力モードを選択します。
出力フォーマット -WHDI *	WHDI の出力フォーマットを設定します。*
出力フォーマット -HDMI	HDMI の出力フォーマットを設定します。
その他	設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
USB TYPE B	USB TYPE B 端子の用途を設定します。

(\* : MS-1WJ のみ)

## 4.9 スイッチャー制御 (つづき)



メインメニューの「特別な設定」をクリックすると、左図の画面が表示されます。「特別な設定」では、本機のプレゼンターモードを解除することができます。

項目	説明
特別な設定	
プレゼンターモード解除	プレゼンターモードを強制的に解除します。

## 4.10 リモートコントロール



メインメニューの[リモートコントロール]をクリックすると、左の“リモートコントロール”画面が表示されます。

項目	説明
COMPUTER IN1	COMPUTER IN1 ボタンと同様に動作します。
COMPUTER IN2	COMPUTER IN2 ボタンと同様に動作します。
LAN	LAN ボタンと同様に動作します。
USB TYPE A	USB TYPE A ボタンと同様に動作します。
USB TYPE B	USB TYPE B ボタンと同様に動作します。
HDMI1	HDMI1 ボタンと同様に動作します。
HDMI2	HDMI2 ボタンと同様に動作します。
HDMI3	HDMI3 ボタンと同様に動作します。
HDMI4	HDMI4 ボタンと同様に動作します。
VIDEO	VIDEO ボタンと同様に動作します。
ブランク	BLANK ボタンと同様に動作します。
静止	FREEZE ボタンと同様に動作します。

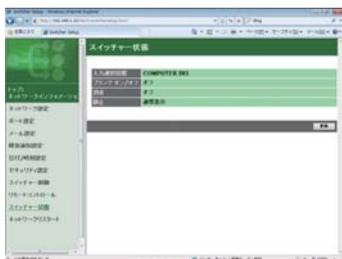
## 4.10 リモートコントロール (つづき)

項目	説明
消音	MUTE ボタンと同様に動作します。
メニュー	MENU ボタンと同様に動作します。
▲	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
◀	カーソルボタン◀と同様に動作します。
▶	カーソルボタン▶と同様に動作します。
決定	ENTER ボタンと同様に動作します。
初期化	リセットボタンと同様に動作します。
前ページ	PAGE UP ボタンと同様に動作します。
次ページ	PAGE DOWN ボタンと同様に動作します。
スライドショー	スライドショーを開始します。

### お知らせ

- Web コントロールのリモートコントロールと、本機の操作パネルのボタンを同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると、誤動作するおそれがあります。
- 一回のクリックでは、一回の操作しか行うことができません。連続して操作するには、ボタンを繰り返しクリックする必要があります。
- ボタンを連続してクリックすると、一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。

## 4.11 スイッチャー状態



メインメニューの [ スイッチャー状態 ] をクリックすると、左図の“スイッチャー状態”画面が表示されます。本画面では、現在の本機の各種状態を表示します。

項目	説明
入力選択状態	選択されている映像入力端子を表示します。
ブランク オン / オフ	ブランク画面のオン / オフ状態を表示します。
消音	消音のオン / オフ状態を表示します。
静止	画面の静止 / 通常表示の状態を表示します。

## 4.12 ネットワークリスタート



メインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックすると、左の " ネットワークリスタート " 画面が表示されます。本画面では、本機のネットワーク接続を再起動することができます。

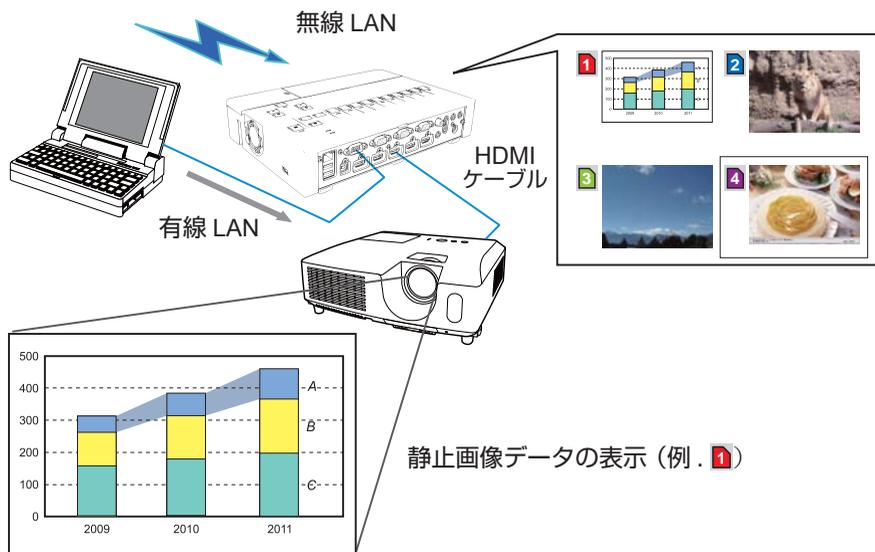
項目	説明
リスタート	ボタンをクリックすると、保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。

### お知らせ

- ネットワーク接続を再起動した後、再び Web コントロールで設定を変更、あるいは本機を操作するには、再起動して 30 秒以上経ってから再度ログオンする必要があります。

## 5. マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送しプロジェクターなどの映像機器に出力して、表示させることができます。



### マイ イメージの転送と登録

マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

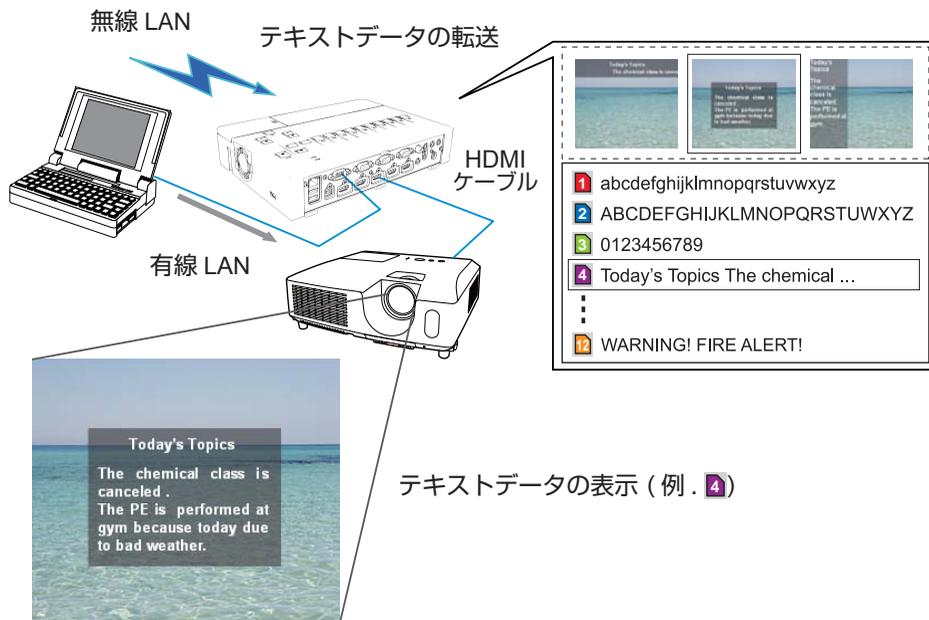
アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

### お知らせ

- 最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。
- USB ディスプレイ使用中にマイ イメージデータを画面に表示させた場合、USB ディスプレイのアプリケーションは終了します。マイ イメージ表示を終了させますと、USB ディスプレイが再起動します。
- 無線 LAN と有線 LAN で同時にマイ イメージデータが送信された場合、本機がマイ イメージデータを正常に処理することができないことがあります。

## 6. メッセンジャー

ネットワーク経由で本機に転送されたテキストや音声データを、プロジェクターなどの映像機器に出力して表示再生することができます。テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる方法と、あらかじめネットワーク経由で本機に転送・登録されたテキストから選択して、1つずつ表示させる方法が可能です。



メッセンジャー機能を使用するには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。本アプリケーションでテキストデータを編集、転送、表示することができます。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

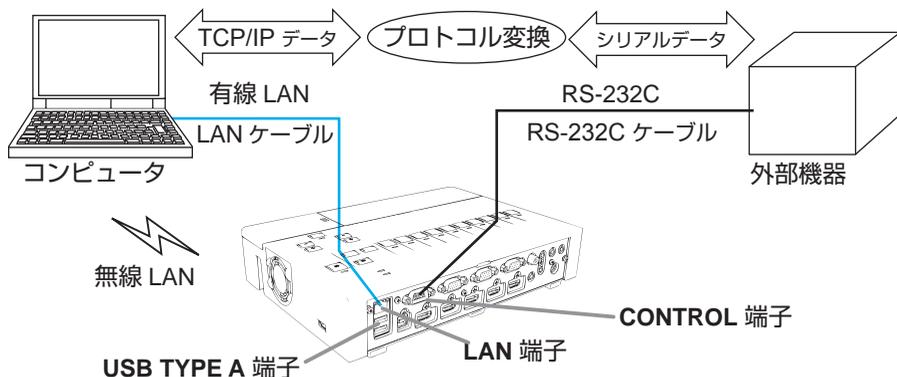
アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

### お知らせ

- 本機には最大 12 個のテキストデータを登録することができます。
- 無線 LAN と有線 LAN で同時にテキストデータが送信された場合、本機がテキストデータを正常に処理することができないことがあります。

## 7. ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。ネットワークブリッジ機能を使うと、本機とネットワークで接続したコンピュータから、本機の **CONTROL** 端子に接続された外部機器を、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



### 7.1 機器の接続

- 1) 本機の **LAN** 端子とコンピュータの LAN 端子を LAN ケーブルで接続するか、**USB TYPE A** 端子に USB ワイヤレスアダプター（別売品）を挿入してください。
- 2) 本機の **CONTROL** 端子と外部機器の RS-232C 端子を、RS-232C ケーブル（クロス）で接続してください。

#### お知らせ

- 接続の前に各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。RS-232C の接続については、本機と接続する外部機器の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください。詳細は、取扱説明書 - 詳細 - 技術情報編をご参照ください。

## 7. ネットワークブリッジ (つづき)

### 7.2 通信設定

本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。

- 1) 「通信タイプ」メニューで、ネットワークブリッジ (使用する接続によって、無線または有線) を選択してください。
- 2) 「シリアル設定」メニューで、「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器のシリアル設定に合わせて選択してください。

項目	仕様
ボーレート	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
パリティ	なし / 奇数 / 偶数
データ長	8 ビット (固定)
スタートビット	1 ビット (固定)
ストップビット	1 ビット (固定)

- 3) 「通信方式」メニューで、接続した外部機器、またはコンピュータの仕様に合わせて通信方式を選択してください。

#### お知らせ

- 工場出荷時、「通信タイプ」は「オフ」に設定されています。
- 「通信タイプ」が「オフ」に設定されている時は、シリアル設定は常に以下の設定になります。  
ボーレート：19200bps      パリティ：なし
- 通信方式の設定が適切でないと、外部機器を正しく制御することができませんのでご注意ください。
- 「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定している時は、**CONTROL** 端子から本機を制御するための RS-232C コマンドを受信できません。

### 7.3 通信ポート

コンピュータから本機へのデータ送信には、Web ブラウザの“ポート設定”で“ネットワークブリッジポート”に設定されているポートを使用してください (☞25)。

#### お知らせ

- 通信ポートは 1024 ~ 65535 の範囲 (但し、41794, 9715, 9716, 9719, 9720, 5900, 5500, 4352 を除く) で任意に設定することができます。  
工場出荷時は、ネットワークブリッジ ポートは“9717”が設定されています。

## 7. ネットワークブリッジ (つづき)

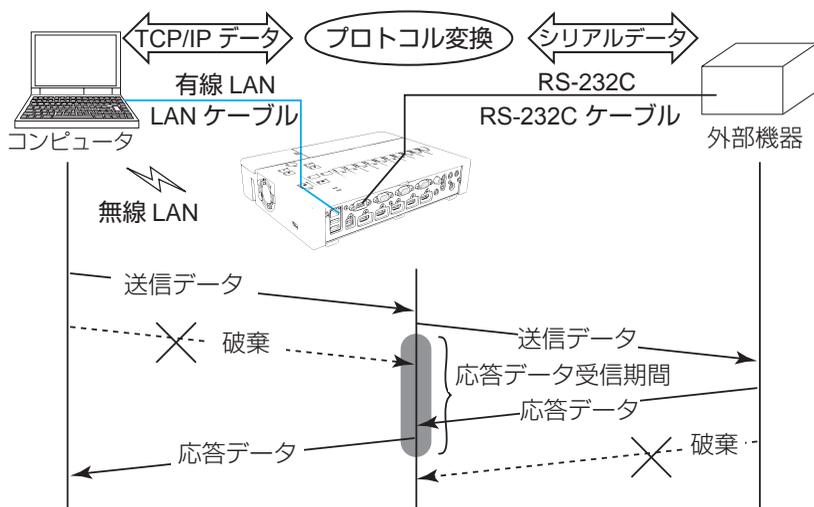
### 7.4 通信方式

本機の通信タイプにネットワークブリッジが選択されているとき、次の通信方式を選択して使用できます。詳細は、取扱説明書 - 詳細 - 応用編をご参照ください。

半二重通信 ↔ 全二重通信

#### 7.4.1 半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。コンピュータから本機を経由して一度外部機器へデータを送信すると、外部機器からの応答データを受信するか、一定の時間（応答データ受信期間）が経過するまで、本機はコンピュータとの送受信を行いません。本機は、データの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。半二重通信で通信を行う場合は、以下に従って、応答データ受信期間の設定を行ってください。



応答データ受信期間メニューを操作して、外部機器からの応答を待つ時間を選択してください。詳細は、取扱説明書 - 詳細 - 応用編をご参照ください。

オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s

#### お知らせ

- 半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
- 半二重通信方式でも、外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

## 7. ネットワークブリッジ (つづき)

### 7.4 通信方式 (つづき)

#### 7.4.2 全二重通信

この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたいときは、コンピュータから、送受信の制御を行ってください。

#### **お知らせ**

- 全二重通信方式で、コンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機の実データ処理状況によっては、送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

## 8. その他の機能

### 8.1 電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます。

警告メッセージを電子メールで自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

#### お知らせ

- 最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
- 本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

#### ■メール設定

- 1) 「4.1 ログオン」(☎19) にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [メール設定] をクリックします。
- 3) "メール送信" の [有効] チェックボックスをオンし、メールサーバーのアドレス、送信者/受信者の電子メールアドレスを設定します (☎26)。
- 4) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
- 5) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[テストメール送信] ボタンをクリックしてください。

メール設定が正しく機能すれば、下のような形式のメールが指定したメールアドレスに送信されます。

**件名** : Test Mail <スイッチャー名>

**本文** : Send Test Mail

Date <テスト実施日>

Time <テスト実施時間>

IP Address <本機の IP アドレス>

MAC Address <本機の MAC アドレス>

## 8.1 電子メール機能による自動通知 (つづき)

### ■障害通知設定

- 1) メインメニューの [ 障害通知設定 ] をクリックします。
- 2) 通知設定するエラー／警告項目を選択します ( 図27)。
- 3) " メール送信 " の [ 有効 ] チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します。  
( 図27)
- 4) [ 適用 ] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。

**件名** : <メール件名> <スイッチャー名>

**本文** : <メール本文>

Date <エラー／警告の発生日>

Time <エラー／警告の発生時間>

IP Address <本機の IP アドレス>

MAC Address <本機の MAC アドレス>

### 8.2 SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。

SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

#### お知らせ

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

#### ■ポート設定

- 1) 「4.1 ログオン」(☞19) にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [ポート設定] をクリックします。
- 3) "SNMP ポート" の "ポートオープン" [有効] のチェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にします。また、"トラップアドレス" に、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定してください (☞25)。
- 4) [適用] ボタンをクリックして設定を保存し、「4.12 ネットワークリスタート」(☞40) にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

#### ■セキュリティ設定

- 1) 「4.1 ログオン」にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックします。
- 3) "SNMP" を選択して、コミュニティ名を設定します (☞30)。  
コミュニティ名は、初期設定では "public" が設定されています。
- 4) [適用] ボタンをクリックして設定を保存し、「4.12 ネットワークリスタート」にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

#### ■障害通知設定

- 1) 「4.1 ログオン」にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューで [障害通知設定] をクリックします。
- 3) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します (☞27)。
- 4) "SNMP トラップ" の [有効] チェックボックスをオンにします (☞27)。
- 5) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

## 8. その他の機能（つづき）

### 8.3 ネットワークによるコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます。

#### コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。

- ・ TCP #23 （ネットワーク制御 ポート 1（ポート :23））
- ・ TCP #9715 （ネットワーク制御 ポート 2（ポート :9715））

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、Web コントロールで、下記の通り通信ポートと、必要に応じてセキュリティを設定してください。

#### ■ポート設定

- 1) 「4.1 ログオン」(☞19) にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [ポート設定] をクリックします。
- 3) "ネットワーク制御 ポート 1 (ポート :23)" の "ポートオープン" [有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にします (☞24)。  
認証設定が必要なときは、"認証" [有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。
- 4) "ネットワーク制御 ポート 2(ポート :9715)" の "ポートオープン" [有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効にします (☞24)。  
認証設定が必要なときは、"認証" [有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。
- 5) [適用] ボタンをクリックして設定を保存し、「4.12 ネットワークリスタート」(☞39) にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

#### ■セキュリティ設定

ネットワーク制御 ポート 1 / 2 の認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

- 1) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックします。
- 2) "ネットワーク制御" を選択し、認証パスワードを設定してください (☞30)。
- 3) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存し、「4.12 ネットワークリスタート」(☞40) にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

#### お知らせ

- [セキュリティ設定] の "ネットワーク制御" で設定した認証パスワードは、ネットワーク制御ポート 1（ポート :23）、ネットワーク制御ポート 2（ポート :9715）、PJLink™ ポート（ポート :4352）、マイイメージポート（ポート :9716）、メッセージャーポート（ポート :9719）で共通になります。

## 8.3 ネットワークによるコマンド制御 (つづき)

## コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

## ■ TCP #23

## ・ 送信データ形式

RS-232C 通信と同じコマンドをそのまま使用できます。

コマンドおよび対応コマンドについては、取扱説明書 - 詳細 - 技術情報編をご参照ください。

## ・ 応答データ形式

RS-232C 通信と同じ応答を返しますが、認証エラーが発生した場合に、(5) の応答を返します。

応答に関する詳細は、取扱説明書 - 詳細 - 技術情報編をご参照ください。

(1) ACK 応答 : 06h

(2) NAK 応答 : 15h

(3) エラー応答 : 1Ch + 0000h (0000h : エラーコード)

(4) データ応答 : 1Dh + xxxxh (xxxxh : データ)

(5) 認証エラー応答 : 1Fh + 0400h (0400h : 認証エラーコード)

## ■ TCP #9715

## ・ 送信データ形式

送信データ形式は以下のように、RS-232C コマンドにヘッダ (0x02)、データ長 (0x0D)、チェックサム (1 バイト)、接続 ID (1 バイト) が加わります。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

[ヘッダ] : 02h、固定

[データ長] : RS-232C コマンドのバイト長 (0Dh、固定)

[RS-232C コマンド] : コマンドおよび対応コマンドについては、取扱説明書 - 詳細 - 技術情報編をご参照ください。

[チェックサム] : ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値

[接続 ID] : 00h ~ FFh のランダムな値 (この数値は応答データに付加されます)

## 8.3 ネットワークによるコマンド制御 (つづき)

### ■ TCP #9715 (つづき)

・ 応答データ形式

RS-232C コマンドに、接続 ID (送信データの接続 ID と同じ) を加えた応答を返します。  
また、本機がビジー状態のとき、認証エラーが発生したときに、(5)、(6) を返します。  
応答に関する詳細は、【取扱説明書 - 詳細 - 技術情報編】「RS-232C 通信によるコマンド制御」をご参照ください。

- (1) ACK 応答 : 06h + xxh (xxh : 接続 ID)
- (2) NAK 応答 : 15h + xxh (xxh : 接続 ID)
- (3) エラー応答 : 1Ch + 00 00h + xxh (00 00h : エラーコード、xxh : 接続 ID)
- (4) データ応答 : 1Dh + xx xxh + xxh (xx xxh : データ、xxh : 接続 ID)
- (5) ビジー応答 : 1Fh + xx xxh + xxh (xx xxh : ステータスコード、xxh : 接続 ID)
- (6) 認証エラー応答 : 1Fh + 04 00h + xxh (04 00h : 認証エラーコード、xxh : 接続 ID)

#### お知らせ

- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あげてください。
- 本機の電源を投入した直後は、本機はコマンドを受信できません。

## 9. トラブルシューティング

本機のネットワーク機能に関して、以下のような現象が起きている場合は、故障ではない場合があります。修理を依頼される前に下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

現象	推定原因	確認内容	参考頁
通信 できない	無線信号が弱い	・ コンピュータと本機を近づけてください。 ・ 無線信号はコンクリートや金属（スチール・ドアなど）を通過しません。	-
	無線設定または暗号設定が合っていない	ご使用のコンピュータに無線設定ユーティリティがあれば、その設定を確認してください。 設定ユーティリティの説明書を参照してください。	-
	本機とコンピュータのネットワーク設定が正しく設定されていない。	本機とコンピュータのネットワーク設定を確認し、正しく設定しなおしてください。	-
	無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定している。	無線 LAN と有線 LAN どちらかのネットワークアドレスを変更してください。	22、23
	<無線 LAN のみ> USB ワイヤレスアダプターが本機に挿入されていない	USB ワイヤレスアダプター（別売品）を挿入してください。	-
	<無線 LAN のみ> 周辺に同じ無線 LAN 設定の本機がある。	SSID もしくは IP アドレスを再設定してください。	22

## 9. トラブルシューティング (つづき)

現象	推定原因	確認内容	参考頁
<ul style="list-style-type: none"><li>- 本機から正しくない情報が送信される</li><li>- 本機から情報が送信されない</li><li>- 本機が応答しない</li></ul>	コンピュータと本機の間で正しく通信できていない。 本機のネットワーク機能が正常に動作していない。	「ネットワーク」メニューの「特別な設定」から、「リスタート」を選択し、本機のネットワーク機能を再起動してください。 現象が改善しない場合は、いったん本機の電源を切って電源コードを抜き、再度電源を入れなおしてください。	取扱説明書 - 詳細 - 応用編

## 10. 保証アフターサービスについて

---

修理をご依頼になるまえに、9. トラブルシューティングに従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。